

■活動の名称 A.びしょ濡れ逃走バトル逃暑中 B.アイデアを小さくお試しWeek!

1:基本情報

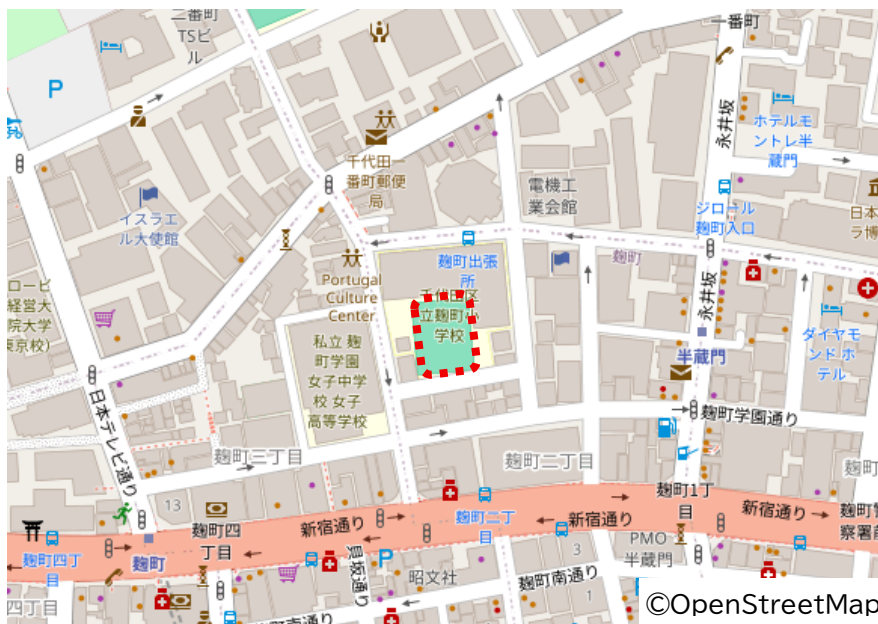
①主催者

はだしの soul ちよだ
谷田 洋、井上 淑子

②実施場所(エリア)

A.びしょ濡れ逃走バトル逃暑中

- ・プレイベント「ちよだスプラッシュ麹町大会」・本イベント「びしょ濡れ逃走バトル逃暑中」
千代田区麹町小学校 校庭【千代田区麹町2-8】



・プレイベント「ワラチ de 夜散歩」

麹町出張所を起終点とした、地図に示す赤い線のコース(全長約3.4キロ、所要時間:約1時間8分)



B. アイデアを小さくお試し Week !

中央復建コンサルタンツ株式会社 パーチ！(半地下駐車場内)【麴町2丁目10-13】



③企画から実施までの活動の流れ(活動に必要な申請書関係含む)

A-1. プレイバント ちよだスプラッシュ麴町大会

【企画検討】

5月13日～5月19日:公募提案に向けた企画検討

5月28日:消防団(麴町第一分団)打合せ(プレイバントの企画・検討)

6月4日:猿楽町町会にご挨拶と今年の流れ打合せ

(以前に類似イベントを開催した地域の町会である神田猿楽町町会に対して、本イベントへの開催協力を得るためのご挨拶と本イベントの企画に関して打合せ)

【準備段階】

6月19日:猿楽町町会、fujimiAction と会場や日程の打ち合わせ(検討・準備)

7月11日:ボランティア説明会①(プレイバントの実施に向けて)

7月14日:ボランティア説明会②(プレイバントの実施に向けて)

7月28日:麴町小副校長、麴町出張所所長との打ち合わせ(会場準備)

7月30日:Google フォームにてエントリー開始(8月9日まで)

8月3日:猿楽町大会後、振り返りと麴町大会に向けての機材準備

8月6日:消防団(麴町第一分団)とプレイバントの当日の流れ、イベント内容、安全管理の打ち合わせ

8月6日:関係者との最終ミーティング(Zoomにて)

8月12日:ボランティア最終説明会(プレイバントの当日の流れ、注意点説明)

8月12日:千代田区社会福祉協議会へ行事保険の申込

8月17日:プレイバント「ちよだスプラッシュ麴町大会・ワラーチ de 夜散歩」開催

8月19日:猿楽町町会、fujimiAction と振り返り

A-2. 本イベント びしょ濡れ逃走バトル逃暑中

【企画検討】

- 5月初旬:二番町こどもクラブと企画検討①(本イベントの企画検討)
- 5月13日～5月19日:公募提案に向けた企画検討
- 6月10日:二番町こどもクラブと企画検討②(本イベントの企画検討)
- 6月25日:千代田区景観・都市計画課第一回オンライン打合せ(企画検討)
- 6月30日:二番町こどもクラブと企画検討③(本イベントの企画検討)

【準備段階】

- 7月11日:千代田区景観・都市計画課経由で、麴町出張所へ備品貸し出し依頼
- 7月20日:二番町こどもクラブとミーティング(本イベントの検討・準備)①
- 7月23日:千代田区へ(千代田区景観・都市計画課経由)ポスター掲示・SNS・広報千代田の掲載依頼準備
- 8月5日:二番町こどもクラブとミーティング(本イベントの検討・準備)②
- 8月18日:二番町こどもクラブ・麴町こどもクラブでワラーチ作成
- 8月19日:千代田区社会福祉協議会へ行事保険の申込
- 8月20日:ちよだボランティアセンター・一般社団法人D&ANetworksにて本イベントのボランティア募集開始

【活動実施】

- 8月25日:本イベント「びしょ濡れ逃走バトル逃暑中」開催

【事後の活動】

- 9月1日:千代田区景観・都市計画課と振り返り

B. アイデアを小さくお試し Week !

【企画段階】

- 7月28日:中央復建コンサルタンツ株式会社様と顔合わせ(活動の内容を参照)
- 9月12日:中央復建コンサルタンツ株式会社様とオンラインにて打合せ(企画検討)

【準備】

- 9月22日:お手伝いメンバーとミーティング(検討・準備)

【活動実施】

- 10月6日:「アイデアを小さくお試し! week!」内でのパラコードワークショップ開催

【事後の活動】

- 12月15日:活動内容の振り返りミーティング

④活動の内容

A. びしょ濡れ逃走バトル逃暑中

ウォーカブルなまちづくりの一環として、「歩く楽しさ」と「世代間交流」をテーマにしたイベントを実施しました。近年高まる健康志向や、足本来の動きを活かすサンダル「ワラーチ」に着目し、歩行を通じた無理のない健康づくりを取り入れた取り組みとしました。

自身が取り組む活動である「はだしの soul ちよだ」の一環として、ワラーチを履いてまちを歩く「ワラーチ de 夜散歩」を実施し、昼間とは異なる夜の街並みを、安全に配慮したルートで歩くことで、移動手段としてではなく、体験として「歩くこと」を楽しむ機会を提供しました。ワラーチを通じて歩き方や姿勢に意識を向けることで、日常生活の中での歩行への意識づけや、無理のない健康づくりにつながる内容としました。

あわせて、子どもから高齢者まで世代を問わず参加できる「みずでっぼう大会」を開催しました。水鉄砲を使った遊びを通じて、子どもたちが主体的に体を動かし、大人は見守りや運営に関わる形をとることで、自然な役割分担と世代を超えた交流が生まれる場となりました。暑さ対策として水を活用しながら、楽しみながら体を動かせる

機会を提供しました。

本事業では、こうした取り組みを単発で終わらせるのではなく、段階的に展開し、イベントとして「ちよだスプラッシュ麴町大会」を実施、遊びを通じた交流のきっかけをつくとともに、ワラーチを履いてまちを歩く「ワラーチ de 夜散歩」を行い、歩くことの楽しさや健康づくりを体感する機会を設け、これらの事前の取り組みを経て、夏の本イベントである「びしょ濡れ逃走バトル逃暑中」へとつなげることで、参加者が無理なく関われる一連の活動として展開しました。

これらの活動を通じて、参加者がまちを歩く楽しさや、人と人がつながる心地よさを段階的に体感し、ウォーカブルなまちづくりの価値を実感できる一連の取り組みとして展開することができました。

○ワラーチとは何か

ワラーチとは、裸足に近い感覚で履けるシンプルなサンダルです。パラコードという丈夫な紐と、ビブラムソールと呼ばれる耐久性・グリップ力に優れたゴム底、この2つだけで作られています。余計な装飾やクッションがなく、足裏全体で地面を感じながら歩けるのが特徴です。足を締めつけず、足本来の動きや筋肉を自然に使うことができるため、姿勢や歩き方を見直すきっかけにもなります。

ワラーチは「特別な人のための履き物」ではなく、子どもから大人まで、誰でも気軽に体験できるサンダルです。

散歩や日常使いはもちろん、イベントやワークショップを通して、楽しみながら“足元からの健康”を感じてもらうことができます。



ワラーチを履いたときの様子

○千代田スプラッシュ麴町大会

ルール：参加者は 3 人一組でチームを編成し、相手チームのヘルメットに装着されたポイを水鉄砲で打ち抜くチーム対抗バトル。水鉄砲を使った遊びを通じて、走る・狙う・協力する動きを取り入れ、楽しみながら体を動かせる内容です。

参加者は年齢構成に応じて以下のクラスに分け、世代に応じた公平な対戦環境を整えました。

クラス 1： 10 歳以下の子供 2 名と大人 1 名

クラス 2： 小学校低学年メインクラス(トータル年齢 21 歳まで)

クラス 3： 小学校高学年メインクラス(トータル年齢 42 歳まで)

クラス 4： 中高生がメインのクラス(トータル年齢 54 歳まで)

クラス 5： 大人クラス

○びしょ濡れ逃走バトル逃暑中

フェイスシールドと一体化した「ポイ」を装着し、水鉄砲を用いて「逃走者役」と「ハンター役」に分かれて行うゲーム形式のイベントを、1 部・2 部・決勝の構成で実施。参加者は、作成したワラーチを履いてゲームに参加し、歩き方や足の感覚を意識しながら体を動かす内容としました。

ルール： 逃走者は、ハンターからの水鉄砲による攻撃を避けながら、校庭内に設定されたさまざまなミッションのクリアを目指します。ミッションをクリアできない場合はハンターが増えていき、ゲームの難易度が段階的に高まる仕組みとしました。

なお、大人は必ずハンター役となり、安全管理と見守りを兼ねながらゲームに参加することで、遊びの中に自然な見守り体制を組み込み、水を活用することで暑さ対策にも配慮し、楽しみながら体を動かせる環境を整えました。

○プレイベント(ちよだスプラッシュ麴町大会)



○プレイベント(ちよだスプラッシュ麴町大会)



○プレイベント(ワラーチ作成ブース)



○プレイベント(ワラーチ de 夜散歩)



○プレイベント(ワラーチ de 夜散歩)



○逃暑中ワラーチ作成(学童イベント)



○本イベント(びしょ濡れ逃走バトル逃暑中)



○本イベント(びしょ濡れ逃走バトル逃暑中)



○本イベント(びしょ濡れ逃走バトル逃暑中)



○本イベント(ワラーチ作成イベント)



○本イベント(ワラーチ作成イベント)



○逃暑中
ポスター



○夜散歩
ポスター



B.アイデアを小さくお試し Week !

地域の方より、「ウォーカブル事業終了後、その先につながるイベントが継続しにくい」という課題についてご相談を受けたことをきっかけに、本事業のその後を見据えた取り組みの可能性についてのご相談を受けました。

ウォーカブル事業に参画されている中央復建コンサルタンツ株式会社様が麴町地区に所在し、敷地の一角を活用したウォーカブルな空間「パーチ！」の活用を促進したいという思いをお持ちであったことから、アイデア共有の場として参加のお誘いをいただき、顔合わせの機会を設けました。

意見交換を行う中で、当団体が取り組む「歩くことを通じた健康づくり」や「ワラーチを取り入れた活動」に関心を持っていただき、地域に根ざした取り組みの一環として、中央復建コンサルタンツ株式会社様が主催する「アイデアを小さくお試し Week !」内でコラボレーション企画を実施することが決定しました。

本共同企画では、中央復建コンサルタンツ株式会社様が事前に実施したワクワク会議にて地域の方から聞いたたくさんのアイデアのうち、「みんなで盛り上げたい！」「ゆっくり好きなことをしたい」という意見を踏まえ、当団体「はだしのsoul ちよだ」としては「パラコードアクセサリーづくり」を担当し、ものづくり体験を通じて子どもたちの主体性を引き出すとともに、歩くことの楽しさや地域とのつながりを実感できる機会となり、ウォーカブル事業の理念を次につなげる取り組みとして実施することができました。

○パラコード作成イベント



○パラコード作成イベント



○パラコード作成イベント



2:活動の実施の仕方

① 活動の実施体制

A.びしょ濡れ逃走バトル逃暑中

【主催】

・はだしの soul ちよだ:活動の企画・準備・実施

【協力】

・千代田区:活動の企画・準備・実施・広報の協力

<以下、イベント「ちよだスプラッシュ麴町大会・ワラーチ de 夜散歩」の協力団体>

【協力】

・ちよだスプラッシュ実行委員会(神田猿樂町町会):活動の企画・準備・実施・広報の協力

・ちよだんご様

・福祉ネイル SARASA 様

・あらうんど様

・麴町はとり様:イベントの運営補助

・ホテルノヒカリ様:イベントの運営補助

・麴町消防団第一分団様:イベントの運営補助

・株式会社ニッポン様:景品の提供

・株式会社セブン&ホールディング様:景品の提供

・株式会社宝島社様:景品の提供

・株式会社文藝春秋様:景品の提供

・株式会社坂口様:景品の提供

・株式会社鈴木コーヒー様:景品の提供

・合同会社 Favorite fabric 様:景品の提供

<以下、本イベント「びしょ濡れ逃走バトル逃暑中」の協力団体>

・株式会社鈴木コーヒー様:景品の提供

・グランドセントラルタワーTokyo アイクリニック様:景品の提供

B.アイデアを小さくお試し Week !

【主催】

・中央復建コンサルタンツ株式会社様:活動の企画・準備・実施

【協力】

・はだしの soul ちよだ:活動の実施の協力

② 活動の収支状況

A.びしょ濡れ逃走バトル逃暑中

【収入合計:29万3000円】

・千代田区活動支援金:29万3000円

【支出合計:29万3000円】

・材料費:18万円

・消耗品費:5万9000円

・広告費:1万9000円

・印刷製本費:2000円

・備品費:8000円

・雑役務費:2万5000円

B.アイデアを小さくお試しWeek!

【収入合計:7000円】

・千代田区活動支援金:7000円

【支出合計:7000円】

・材料費:7000円

③ 広報活動の内容

A.びしょ濡れ逃走バトル逃暑中

	実施した広報の種類	広報のターゲット層
プレイベント 「ちよだスプラッシュ ユ麴町大会・ワラー チ de 夜散歩」	・インスタグラム	特定のターゲットを定めず、幅広く告知
	7月2日 実施予告・プログラム掲載	区内在住・在勤者
本イベント 「びしょ濡れ逃走バ トル逃暑中」	・二番町こどもクラブ・麴町こどもクラブでの イベント告知(ポスター)	地域の児童・保護者
	・7月上旬 イベント参加案内作成・配布 (学童配布用のおたより)	学童の児童・保護者
	・ポスター掲示(区内掲示板) 8月12日～8月22日	区内在住・在勤者等
	・千代田区公式 SNS(LINE・X・Facebook) イベントカレンダー掲載 8月12日～	区内在住・在勤者・区外在住・ 東京都外
	・広報千代田 8月20日号	区内在住・在勤者等
・インスタグラム 8月23日～	特定のターゲットを定めず、幅広く告知	

B.アイデアを小さくお試しWeek!

広報活動については、主催者である中央復建コンサルタンツ株式会社様に一任しました。

なお、中央復建コンサルタンツ株式会社様にて作成したチラシ画像を使用して、インスタグラムによる告知を行いました。

・インスタグラム 10月1日～ 特定のターゲットを定めず、幅広く告知

3: 今後の活動の展望

① 今回の活動を通じて実現した「地域課題の解決」、「新たな価値の創造」

今回の活動を通じて、イベント運営における「人材確保」や「継続的な運営体制」の重要性が共有され、スタッフ確保への意識が高まりました。備品費・保険料・広報費などの経費確保の必要性も明確になり、今後の資金計画見直しのきっかけとなりました。地域連携では、町会・学校・子育て団体など多様な主体との協力を通じて、地域全体で支え合う仕組みづくりの第一歩を築きました。水を使うイベントに伴うリスク管理を徹底し、安全意識も向上しました。また、「ワラーチづくり」という新しい地域文化を通して、子どもから大人まで“歩く楽しさ”を共有できる新しい価値を生み出しました。さらに、中央復建コンサルタンツ株式会社様との共同企画を通じて、企業と地域団体の協働体制を構築し、今後の連携強化の方向性を明確にできたことも成果です。

② 活動を進める上での課題や苦勞したこと

継続的な活動を支える人材確保と後継者育成が大きな課題でした。限られたスタッフで準備・運営を行う中、役割分担や担い手育成の仕組みづくりの必要性を実感しました。また、地域連携では、千代田区役所はじめ、町会や学校など多様な関係者との調整に時間を要し、初めての連携先との信頼構築には丁寧なコミュニケーションが必要でした。水を使うイベントの安全管理では、天候や会場条件への柔軟な対応が求められました。さらに、企業との共同企画においては、リサーチ体制や情報共有の方法など、協働の進め方に改善点がありましたが、今後の連携強化に向けた学びを得る機会となりました。

③: ①や②を踏まえた今後の活動に向けた方針

本活動は、単発の取り組みで終わらせることなく、継続的に実施していくことで、地域住民にとって夏の恒例行事として定着させていくことを目指します。そのために、これまでの実施を通じて得られた経験や課題を踏まえ、より円滑で参加しやすい運営体制を構築してまいります。

今回の活動の特徴である「ワラーチづくり」を地域文化として定着させることも重要な方針です。単なる体験にとどまらず、子どもから大人までが“歩く楽しさ”を日常的に感じられるよう工夫を重ね、地域の特色ある活動として根付かせていきます。

また、企業や行政との連携も引き続き推進し、互いの専門性を生かしながら、地域の魅力とつながりを広げる持続可能なまちづくりを進めてまいります。